

令和3年度日本原子力学会 北関東支部 リモート若手研究者・技術者発表会 優秀発表賞について

2022年1月26日(水)に行われた「令和3年度リモート若手研究者・技術者発表会」(オンライン・リモート方式)では、一般及び学生合わせて計24件の発表がありました。初めに自己紹介を兼ねた研究のショートプレゼンテーションを行い、その後、審査発表が行われ、活発な議論が行われました。これらの発表の内、審査委員会の審議を経て、「最優秀発表賞」と「優秀発表賞」を決定しました。

○最優秀発表賞(1件)

・牛木 知彦 (量子科学技術研究開発機構)

「ITERダイバータ赤外サーモグラフィのレンズ材料のガンマ線及び中性子照射による中赤外光学特性の影響評価」

○優秀発表賞(6件)

・後藤 健太 (日本原子力研究開発機構)

「バイタルセンサを用いたエアラインスーツ作業時等の体調管理方法の調査・研究」

・佐久間 修平 (日本原子力研究開発機構)

「作業者と線源の位置関係が水晶体等価線量評価結果に及ぼす影響の評価」

・青谷 樹里 (日本原子力研究開発機構)

「イオン電極を用いた高放射性廃液中のNa分析法の検討」

・谷口 拓海 (日本原子力研究開発機構)

「カドミウムの安定化処理方法の検討(2)」

・岩田 孟 (日本原子力研究開発機構)

「ガラス固化体の溶解に及ぼすFeイオン影響」

・村上 洋平 (日立製作所)

「再エネ増時の電力系統における原子力発電所の価値向上に関する検討」

以上